

城北地区

令和6年度

推進交付金：650,000円

取組み1 防災活動推進事業

主催 城北地区住みよい町づくり協議会安全の部会

(1) 目的

いざという時に慌てず助け合いができる地域・町会・家庭環境及び難所環境を整備するとともに、学習会・研修会の開催により防災意識の高揚を図り、日頃から誰もが安心して暮らすことができる町づくりを推進します。

(2) 取組み

- ア 松本深志高等学校及び開智小学校避難所にワンタッチテントを購入
- イ 地区防災計画策定の取り組みとして、策定委員会を開催し、地区防災計画（案）について検討を開始
- ウ 防災意識の醸成を図るため、瑞松寺の茅野俊幸住職による「能登半島地震避難所支援ボランティア」講演会を実施
- エ 開智小学校、松本深志高校の指定避難所運営委員会の活動支援及び委員会への参加
- オ 能登半島地震等の発生を受け、「我が家の安心・安全づくり」リーフレットを全戸配布

○開智小学校避難所運営委員会（11/15 段ボールベット等の組立演習）



閲覧
 令和6年12月吉日
 「能登半島地震避難所支援ボランティア講演会」の開催について
 住みよい町づくり協議会 安全の部会
 住みよい町づくり協議会「安全の部会」では、いざというときに助け合ふことができ、誰もが安心して暮らすことができる町づくりを進めています。
 つきましては、防災講演会を下記のとおり開催しますので、皆さま是非ご参加ください。

記
 1 日時 令和7年2月1日(土) 午後1時30分から午後3時まで
 2 会場 城北公民館大会議室
 3 講師 瑞松寺住職 茅野俊幸氏
 国際 NGO・シャンティ国際ボランティア会 副会長



9.5年阪神淡路大震災以降、新潟中越地震、東日本大震災、熊本地震等東日本震災の被災地に入り活動をおこなってきました。
 昨年1月1日に発生した能登半島地震では、震災直後の1月9日から石川県輪島市門前町に入り、門前町と松本を行き来しながら被災者支援を続けています。市の派遣職員とは違い避難者と同じ目線で被災状況と避難所の取り組みをお願いします。

4 申込方法
 参加を希望される方は、1月24日(金)までに下記記載のいずれかの方法でお申込みください。

①電話及び窓口 城北地区地域づくりセンター 電話38-0120
 ②Logo フォーム ①の QR コードを読み取りお申込みください。



5 その他 ご不明な等ございましたら、安全の部会長 吉田健司(090-9365-0073)へご連絡ください。

城北地区防災計画

(事務局案)



2024年(令和6年)11月 Rev.1

城北地区防災協議会

(城北地区住みよい町づくり協議会・城北地区防災連合会)

(3) 今後の展開

- ア 地区防災計画の策定を進めます。
- イ 学習会・研修会を開催し地区全体の防災意識の向上に努めます。
- ウ 指定避難所の防災備品の充実に努めます。

取組み2 健康づくり推進活動(健康づくり)推進事業

主催 城北地区住みよい町づくり協議会健康の部会

(1) 目的

健康づくり・介護予防を主とした交流から、地域住民の顔の見えるつながりを育み、支え合える地域を目指します。

(2) 取組み

子どもから高齢者まですべての地区住民を対象とした体と心の健康・介護予防のための講座をはじめ各種事業を開催しました。

昨年は雨で中止となった春のマレットゴルフ大会でしたが、今年は開催でき楽しく運動できました。

1月に実施した乗鞍マウントスキー教室では、好天に恵まれ23名の親子の参加があり、楽しい1日を過ごしました。

ボウリング大会では、お子さんからお年寄りまで幅広い方が参加し、楽しく交流ができ、顔の見える関係づくりのきっかけの一つになりました。

○ウォーキング大会



○いきいき健康講座



○春のマレットゴルフ大会



○秋のマレットゴルフ大会



○軽スポーツ交流会



(3) 今後の展開

「ひとり一人が健康でいつまでも元気に過ごすための「心と体」の健康づくり」を目的に、関係団体、関係職員と連携し「お互い様」の精神で子どもから高齢者まで共に支え合い学び合い安心して暮らせる健康な町づくりを推進します。

取組み3 地域福祉推進事業

主催 城北地区住みよい町づくり協議会福祉の部会

(1) 目的

福祉を中心とした地域課題解決に向けた研修を進め、住民意識の向上を図るとともに、「誰もが、住み慣れた家、地域で安心して暮ら続けることができる仕組みづくり」を具体的に進め、いざという時に助け合える、城北地区をめざします。

(2) 取組み

ア 松本市立病院 中村雅彦医師による認知症講座を2回開催

第1回「認知症の初期症状気が付くポイント・もっと知ろう認知症のこと」
(参加者71名)

第2回「地域で支える認知症—認知症の声、視点に寄り添う」
(参加者62名)

イ 認知症対応の参考図書の購入

ウ 町会役員と高齢者に対して実施したアンケート結果を町会長、町内公民館町、民生委員に配布

エ 地区内の町内公民館2か所で毎月1回開設している、誰もが集えるカフェ「カフェすいれん」の活動支援

○ 認知症講座

城北地区の皆さんへ

全戸配布

令和6年度 城北地区 地域ケア会議
認知症講座のお知らせ
城北地区住みよい町づくり協議会 福祉の部会

高齢になると当たり前になる「体の衰え」や「物忘れ」などが、認知症の症状と区別出来ない事があります。
高齢の方は自分ごととして、また家族の方の不安は大きいものがあります。
そのために今回下記のように学習会を開催致します。大勢の皆様お出かけください。

日時 令和6年8月31日(土) 午後1時30分～午後3時00分(予定)
(開場受付 午後1時～)

会場 城北公民館 大会議室

内容 テーマ:いざという時に助け合える城北地区をめざす
「認知症の初期症状、気が付くポイント
もっと知ろう!認知症のこと」
講師 松本市立病院 中村 雅彦 医師

申込 参加者の人数把握のため、8月23日(金)までにお申し込みください。
電話 城北地区地域づくりセンター (☎38-0120)
FAX 氏名・電話番号・町会名を (Fax:38-0121) までお送りください。
窓口 平日(月曜日～金曜日)の9:00～17:00 受付窓口にて
インターネット QRコードを読み取って、申込フォームからお申し込みください。

申込先
城北地区地域づくりセンター
※台数は限られています。
乗り合わせてお越しください。

【お問い合わせ】
城北地区地域づくりセンター 堀
松本市南智 2-3-39 ☎ 38-0120

出前講座 2024年8月31日城北公民館

もっと知ろう。認知症
～早期発見のために～



 **松本市立病院**
Matsuyama City Hospital
中村 雅彦



(3) 今後の展開

引き続き日頃から「誰もが、住み慣れた家・地域で、安心して暮らし続けることができる仕組みづくり」を具体的に取り組めます。

ア 訪問診療の講演を受け、地域で何ができるか考え支援体制について検討していきます。

イ 高齢化が進むなか、5人に一人は認知症になるといわれている。そのため、地区住民が認知症の理解や知識を深め、地区ボランティアを育成する機会として、研修会・講座を継続して開催します。

ウ 町会での福祉の広がりを図るために、モデル町会で具体的に進めていきます。

エ 協議会活動の柱である「認知症にやさしい町づくり」の実践として、オレンジカフェ運営の支援をしていきます。